

専攻科卒業生（知的障害）の専攻科に関する意識について

○寺門宏倫

下条明子

船橋秀彦

(茨城県立つくば特別支援学校) (茨城県立つくば特別支援学校) (茨城県立水戸飯富特別支援学校)

KEY WORDS: 知的障害 専攻科 専攻科卒業生の意識

1 研究の課題・目的・方法

現在,知的障害者の高等部卒業後の進学率は極めて低い。それに対して,発達が遅いから教育期間の延長が必要との考えもある。専攻科設置の意義を探るためには,本人,保護者,高等部在学学生,進路先等の関係者の意見を踏まえて明らかにすべきである。本稿は,そうした課題意識に基づいた先行調査¹⁾に続く予備的研究として専攻科卒業生に直接聞き取り,専攻科の意義等について調査した報告である。調査対象は限定的であるが,専攻科体験者の意見として重視した。

2 調査方法

- ①調査対象:やしま学園高等専修学校(大阪)の専攻科卒業生6人(2004年度から専攻科を設置)。
- ②調査日・場所:2012年12月1日,兵庫県神戸市。
- ③調査方法:聞き取り調査で,個別面談方式,聴聞者は専門のみ,同席者はなし。

3 調査項目

調査項目は,「名前」「年齢」「通った学校の名前(専攻科の名前)」「a今通っているところ(働いているところ)」「b高校卒業した後すぐ社会に出ないで専攻科に行こうと思った理由」「c高等部の勉強と専攻科の勉強の違い」「d専攻科に行ってもよかったと思うこと」「e夢や希望はありますか」「fこれからもっと勉強したいか」である。

4 調査結果

(1) 対象者の年齢・職場等

調査対象は,6人も男性で,年齢は25歳から27歳(無回答1人)で,いずれも同一学園専攻科出身者で,現在通っている所は福祉施設2人・一般企業4人だった。

回答の仕方から特徴を見ると,名前,年齢,職場・施設名は答え,多くが「・・・です」と丁寧に答えた。その後の質問(a~f)には,1人が答えなかった。

(2) 専攻科入学の動機 (Tab1)

5人の回答があり,「もっと勉強したい(5人)」、「友達」を理由とする回答が2人だった(重複有り)。

(3) 高等部と専攻科の違い (Tab2)

4人の回答があり,「自分で考え選択することが多かった(4人)」、「高等部は先生が決めた(用意した)(2人)」だった(重複あり)。

(4) 専攻科でよかったこと (Tab3)

5人の回答があり,「人との触れ合い(2人)」、「深く知る事ができた(1人)」、「自分で取り組んできた(1人)」だった。(2)(3)の回答に比して,比較的意見が分かれた。

(5) 将来の夢や希望・勉強の志向

将来について問うた質問eでは,5人が回答し,自分の仕事に関わるものが3人,その内2人が現状をよくしたい(「もうちょっとスムーズに」「店を持ちたい」と)の回答だった。「体重が増えてしまったので運動をしたい(1人)」もあった。質問fは全員(6人)が回答し,「もっと勉強したい(5人)」、「まだわからない(1人)」だった。

Tab.1 専攻科に入ろうと思った理由

- 1 やっぱりもっと勉強したいなと思って
- 2 もうちょっと仲間と遊んだり勉強したいなと思って
- 3 もうちょっと勉強したいいろいろなこと学びたかったんで専攻科という形に選びました
- 4 もっと友達をたくさん作ったり学べたりするように頑張りたいと思ったから
- 5 —
- 6 まだ勉強したりないと思ったから

Tab.2 高等部と専攻科の勉強の違い

- 1 専攻科はやっぱりもっともっと勉強できるなと思って
- 2 高等部はあらかじめ先生方が用意してくれていたものが多かったけど専攻科に入ってから元から自分たちで組み立てるみたいな感じでしたね。旅行でも自分たちで行く先を決めなければならなかった
- 3 高等部はいろいろな先生らで授業決まってるけど専攻科は自分らで活動という決まっているところもあれば決まってないところもあったんでいろんな活動ができるかなと思いました
- 4 高等部は先生たちがついてるんですけど Y 学園とかは自分で考えたり悩んだりするところが一番悩んだりとかしていました。テーマ学習とか なやむっすよ 頭がこんがらがらくらい考えました
- 5 —
- 6 自分で選択しなきゃいけないことが多くなった

Tab.3 専攻科に行ってもよかったと思うこと

- 1 人と触れ合うことができてよかったです
- 2 テーマ研究という授業があって自分の趣味のこととか調べてさらに深く知れたことです。
- 3 大阪の子とかいろいろな所の子たちと いろいろな人と学ぶ,できたから良かったと思う
- 4 最初は先生たちがついてたんですけど 後から自分たちでいろいろなところ行ったり いろいろな場所に行っても旅行会社とかにいるような相談をしたりとかしてました。
- 5 —
- 6 何かあると思うんですけどこれってなかなか出てこない

5 考察

専攻科卒業生への聞き取りから,①入学の動機として,学習の継続要求をあげた者が多かった。友達や「遊びたい」もあった,②高等部本科と専攻科の違いは,受身的学びから主体的学び(自己決定)への変化だった,③専攻科に行ってもよかったことへの回答は多様だった。④多くが夢を持ち(5人),6人が現在でも「もっと勉強したい」との学習の継続要求があった,⑤6人は全国専攻科(特別ニーズ教育)研究集会に参加しており,この点からも,自らの専攻科体験を,積極的・肯定的なものとして受け止めているといえる。

引用・参考文献

1) 茨城支部研究プロジェクトチーム「障がい者の高等部卒業後の教育年限延長に関する意識の調査研究」(第21回発達保障研究集会,2013年3月)。発表要旨は「全障研しんぶん」第490号,2013年4月号に掲載。茨障研HP(「茨障研」で検索)にも掲載。

(TERAKADO Hiromichi, SHIMOZYU Akiko,

FUNABASHI Hidehiko)